

漁況予報 いわし

第138号

2006年11~12月漁期
(2006年11月10日発行)

＝ 概況 ＝

【まいわし】

主要定置網におけるマイワシ総水揚げ量は、9月が14トン、10月が8トン(速報値)で、前年同期(9月:188トン、10月:106トン)を大きく下回る値となりました。また、9・10月の2ヶ月間の漁獲量:22トンは、過去5年間の平均値の1/4程度であり、非常に低水準となっております。

佐島地区のまき網は、9月、10月とも漁獲はほとんどありませんでした。

魚体は、相変わらず0歳魚(2006年級群)の中羽マイワシ(14~15cm台)が主体でした。

【かたくちいわし】

主要定置網におけるカタクチイワシ総水揚げ量は、9月が156トン、10月が23トン(速報値)で、前年同期(9月:409トン、10月:31トン)を下回りました。8月までは過去最高値で推移しておりましたが、9月に入ると漁獲量が落ち、10月には激減しました。

昨年と同様に、9月中旬頃から成魚の来遊が切れ、未成魚主体の漁模様になったことで、水揚げ量は減少しました。

佐島地区のまき網は、9月は断続的に餌イワシとして漁獲しましたが、10月に入るとまとまった漁獲が見られなくなりました。

魚体は2ヶ月とも6~7cm台の未成魚が主体でした。

【しらす】

相模湾のシラス漁は、8月は近年まれにみる最高水準の漁獲量で推移しましたが、9月は1ヶ統あたり100kg/日前後の漁獲量に落ち着きました。ただし、平塚を中心とした奥部では、1ヶ統あたり300~500kg漁獲する日も多く見られ、好漁を維持しました。

10月に入ると再び全域で好漁となり、1ヶ統あたり200kg/日前後の漁獲量を維持し、10月としては最高水準の漁獲量となりました。

10月末頃から漁獲量は減少してきておりますが、ほぼ全域で数十kg程度の漁を維持しております。

今後は、年末にかけて緩やかに漁獲水準が落ちていきながら終漁になるのではないかと考えられます。

＝ 予報 ＝

まいわし

今漁期は、中羽イワシ(0歳魚、2006年級群)が主体になるでしょう。

3~6月のシラス漁におけるマシラス(マイワシの仔魚)の漁獲量から、今漁期の水揚げ量は、定置網を主体に約27トンと予測されます。

*縦軸: 主要定置網+まき網の水揚げ量

かたくちいわし

今漁期は、未成魚が漁獲の主体となります。

未成魚が主体であった2005年の漁獲量から、今漁期の漁獲量は、約68トンと予測されます。

しらす

今漁期は、9~10月生まれのカタクチシラスが漁獲の主体となります。

今漁期の漁獲量は、約36トンと予測されます。

過去5年の11・12月漁期の漁獲量
と今漁期の予測量

